



2027年国際園芸博覧会
公式マスコットキャラクター
トウングトウング

令和8年7月24日
国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所

国道246号梶ヶ谷交差点下り線の右折車線が延伸します

～令和8年7月28日（火）に完成します～

「国道246号梶ヶ谷局所渋滞対策」は、ビッグデータの分析により渋滞原因を特定し、梶ヶ谷交差点下り線の右折車線の延伸を行い、渋滞緩和を図る局所渋滞対策事業です。

このたび、関東地方整備局管内で初めて「局所渋滞対策事業」が完成します。

今後は、完成後の交通状況を把握するとともに、対策効果の検証を実施してまいります。

- ・ 完成日時：令和8年7月28日（火）5時
- ・ 完成箇所：国道246号梶ヶ谷交差点（川崎市高津区）
- ・ 事業内容：下り線右折車線延伸（約60m→約100m）

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 横浜ラジオ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜国道事務所

電話：045-287-3001（代表） メールアドレス：ktr-yokohama-chousa1@mlit.go.jp

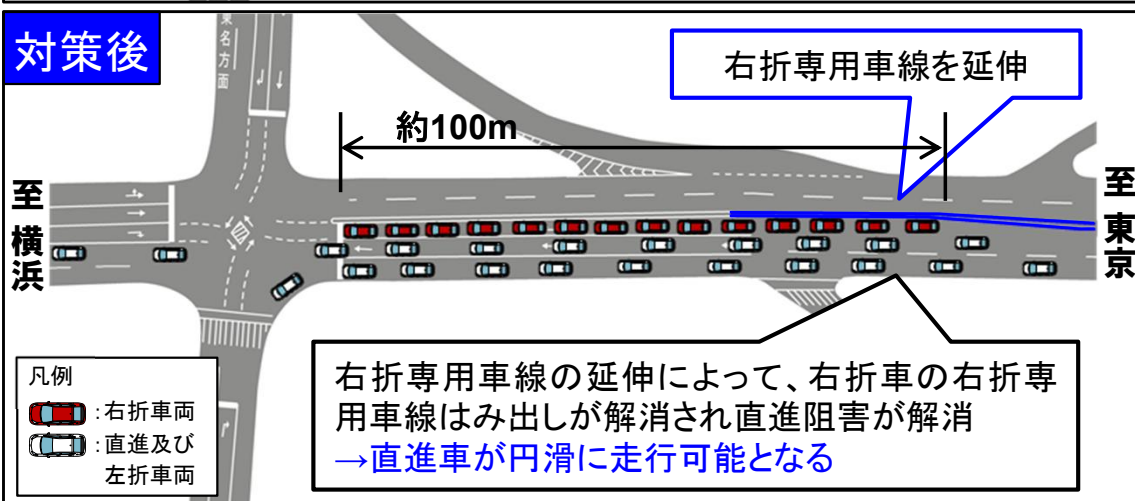
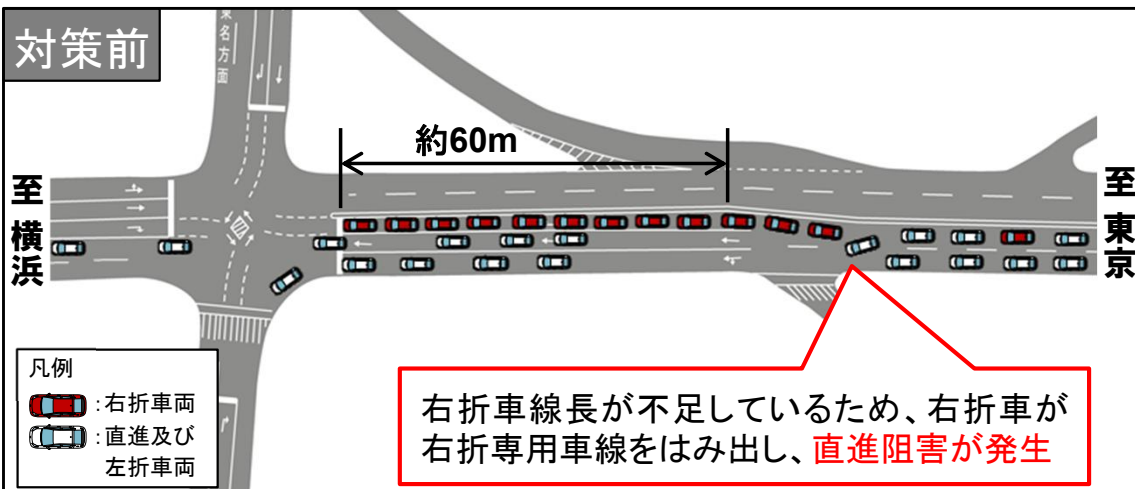
副所長 山口（やまぐち） （内線：204）

調査課長 中川（なかがわ） （内線：461）

国道246号梶ヶ谷交差点局所渋滞対策の概要(対策内容)

○下り方向では、夕方になると右折車に対し右折車線長が不足しているため、直進阻害が発生している状況。

⇒下り車線の旅行速度向上及び右折車線のはみ出しによる直進阻害を解消するため、右折専用車線の延伸を実施。



【対策前の右折車線はみ出しによる直進阻害の様子】



【現況写真】



国道246号梶ヶ谷交差点局所渋滞対策の概要(対策前の課題)

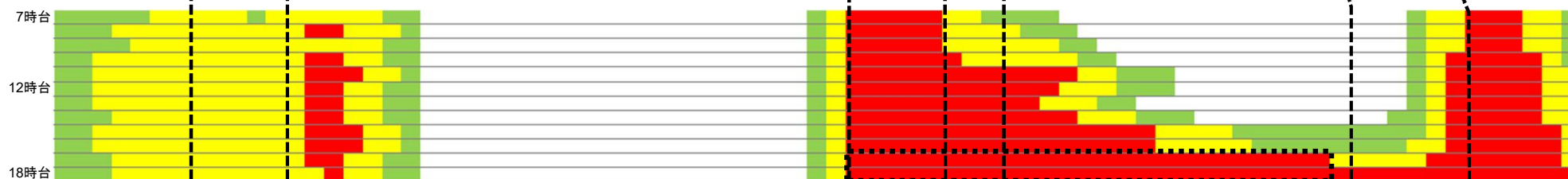
- 川崎市高津区の国道246号梶ヶ谷交差点付近は、約47千台/日※と多くの交通量が流入する区間である。
- 下り方向は夕方が特に渋滞しており、渋滞の先頭は梶ヶ谷交差点となっている。



上記地図は国土地理院の電子国土Webシステムのデータを加工して使用



※令和3年度全国道路・街路交通情勢調査より



<参考>局所渋滞対策事業の概要

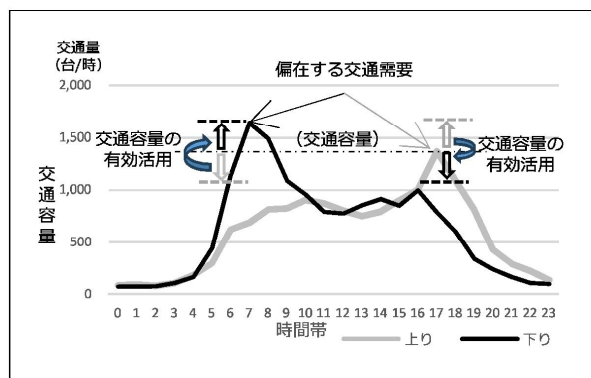
シームレスネットワークの実現に向け、サービスレベルの低下要因となっている箇所に対して機動的・面的な対策を推進するため、局所渋滞対策事業を創設。

【目的】

ビッグデータ等の活用により、**求められるサービスレベルに対して著しい課題が生じている箇所の分析**を行い、その結果に基づき、道路の機能向上を含む**渋滞の緩和・解消を目的とした合理的な局所改良を実施**することで**ネットワークのサービス改善**を図る

【分析・評価】

E T C 2. 0等のビッグデータやI C Tを活用し、求められるサービスレベルに対する現況の分析・評価や渋滞要因の推定を実施



▲時間別・箇所別・方向別のデータ分析

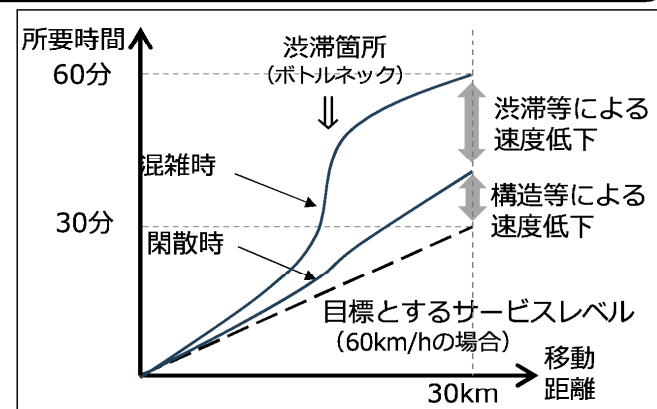
【対策】

車線運用の変更など従来の手法に加え、2 + 1車線化など、要因に即した効率的・効果的な新たな対策※を柔軟に実施



▲新たな対策の事例

※この他、ゼブラ帯設置、追加ランプ、直行方向の交差点立体化など既存の対策手法にとらわれず検討



▲道路のサービスレベル分析のイメージ

【事業の流れ】

